大阪府

月　日	6月20日～7月19日
開催場所	行政機関、協力団体
活動主体	大阪府、大阪府「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会、大阪府薬物乱用防止指導員協議会、関係行政機関、関係民間団体　等

活動状況

①6・26ヤング街頭キャンペーン

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止とした。

②地域団体キャンペーン

関係機関、協力団体・企業等の協力を得て啓発ポスターの掲示やリーフレットの配架等を実施するとともに、国連支援募金箱を設置することで、啓発並びに募金協力呼びかけを行った。また、7月の「少年非行・被害防止強調月間」に合わせて、イベント会場等においてポスター掲示、啓発メッセージ映像の放映、リーフレット・啓発物品の配布を行い、薬物乱用防止を訴えた。

③その他

府ホームページや府広報誌、公式Facebook・Twitter、市町村広報誌等を利用した運動の周知並びに啓発を図った。

大阪府

兵庫県

月　日	6月16日、6月18日、6月25日、6月26日
開催場所	芦屋市、宝塚市、川西市、高砂市、明石市、小野市、姫路市、宍粟市、豊岡市、丹波市、南あわじ市、西宮市　計12か所
活動主体	兵庫県、保健所設置市、兵庫県薬物乱用防止指導員協議会、各地区薬物乱用防止指導員協議会、ライオンズクラブ、ボーイスカウト、ガールスカウト等
参加人員	２８２人

活動状況

本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を考慮しつつ、地域の実情に応じて、県下10地区で街頭啓発キャンペーンを実施した。

街頭啓発キャンペーンでは、活動参加者は啓発用ビブスを着用し、マスク等の着用や人の滞留が無いよう活動範囲を点在させる等の感染拡大防止対策を講じつつ、啓発資材（リーフレット、ウェットティッシュ、ボールペン等）を配布するほか、のぼり掲揚、館内放送や着ぐるみ（兵庫県マスコットキャラクター「はばタン」及び兵庫県薬物乱用対策推進会議マスコットキャラクター「まやタン」使用）等により薬物乱用の害や危険性を訴えた。

また、街頭啓発キャンペーンを実施しなかった二地区では、地域住民の利用が多い駅前に横断幕及びのぼりを設置したり、若年層の利用者が多いレジャー施設内にリーフレットやウェットティッシュを設置したり等により、地域住民への啓発を行った。

兵庫県

奈良県

活動状況

①6・26ヤング街頭キャンペーン

今年度は、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止した。

②地域団体キャンペーン

関係団体やショッピングモール等に、啓発ポスターの掲示や募金箱の設置を依頼し、啓発を行うと共に国連支援募金への協力を呼びかけた。

和歌山県

月　日	6月25日、6月26日、7月1日　ほか
開催場所	和歌山市、岩出市、紀の川市、九度山町、海南市、有田市、有田川町、由良町、田辺市、串本町、古座川町、新宮市、那智勝浦町、太地町内の計18カ所
活動主体	和歌山県、和歌山県薬物乱用防止指導員協議会、和歌山県薬物乱用対策推進本部
参加人員	延べ２６１人

活動状況

①6・26ヤング街頭キャンペーン

県内各地域の薬物乱用防止指導員協議会が中心となり、和歌山県警察、和歌山海上保安部、大阪税関和歌山税関支署、各市町村少年センター、県内ライオンズクラブなどの関係機関・団体の協力を得て、駅前やショッピングセンター前などで、のぼりを掲げ、「薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ。』を合い言葉に、リーフレット、キズバンド、ティッシュなどの啓発物品を配布した。

②地域団体キャンペーン

関係団体等の協力により、啓発ポスターを店頭に掲示するとともに、医薬品関係業者、生活衛生関係業者の店舗や職場において、国連支援募金活動を実施した。

鳥取県

活動状況

①6・26ヤング街頭キャンペーン
　今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、街頭キャンペーンについては、県内各地区とも中止とした。

②地域団体キャンペーン
　各団体はもとより、各市町村及び県庁並びに県地方機関等にもポスター、募金箱等を送付し啓発に努めた。また、国連支援募金への協力依頼を実施した。
　その他、「子ども向け薬物乱用防止リーフレット」を作成し、県内の関係機関や学校へ配布した。

鳥取県

和歌山県

島根県

活動状況

①6・26ヤング街頭キャンペーン
　新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

②地域団体キャンペーン
　市町村、警察署、医療機関、薬局等の協力によりポスターの掲示やリーフレット等啓発資材の配布を行ったほか、各機関の窓口へ募金箱を設置し、国連支援募金への協力を呼びかけた。

岡山県

月　日	6月2日、20日、21日、22日、23日、24日、29日、7月1日、8日、17日
開催場所	「覚醒剤等薬物乱用防止指導員各地区協議会(県下9地区)」管内（岡山市、備前市、和気町、倉敷市、総社市、浅口市、笠岡市、津山市、勝央町、美作市、真庭市、高梁市、新見市）
活動主体	県、県警察本部、保健所、県覚醒剤等薬物乱用対策推進本部、県覚醒剤等薬物乱用防止指導員協議会(医師会、薬剤師会、保護司会連合会、少年警察協助員連合会、愛育員会、理容生活衛生同業組合、食品衛生協会、ライオンズクラブ336-B地区)、同各地区協議会、県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会、同各支部
参加人員	約300名

活動状況

①6・26ヤング街頭キャンペーン
・「覚醒剤等薬物乱用防止指導員各地区協議会(県下9地区」が中心となり、高等学校等県下15箇所において「ダメ。ゼッタイ。」を合言葉に薬物乱用啓発資材(パンフレット、ポケットティッシュ、ボールペン、クリアファイル等)を配布するとともに、覚醒剤等薬物乱用防止を呼びかけ、国連支援募金を実施した。

［参加学校］
　備前緑陽高等学校、和気閑谷高等学校、倉敷翠松高等学校、総社南高等学校、岡山龍谷高等学校、おかやま山陽高等学校、美作高等学校、津山中学・高等学校、勝間田高等学校、林野高等学校、真庭高等学校落合校地、高梁日新高等学校、新見高等学校北校地、新見高等学校南校地、共生高等学校
・日本プロサッカーチームであるファジアーノ岡山のホーム公式戦において、「岡山県民応援デー」を実施し、パネル展示や普及啓発資材を配布した。

②地域団体キャンペーン
　関係機関の窓口等へ募金箱を設置し、国連支援募金への協力を呼びかけた。

岡山県

広島県

月　日	6月20日～7月19日
活動主体	広島県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会

活動状況

①6・26ヤング街頭キャンペーン

新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施を見送った。

②地域団体キャンペーン

計46の関係団体が店頭等へのポスターの掲示及び一声運動を実施した。

③その他

・薬務課及び県保健所のホームページに「ダメ。ゼッタイ。」普及運動についてのページを作成、掲載した。

・広島県公式Twitterにおいて「ダメ。ゼッタイ。」普及運動について広報した。

・保健所内の掲示スペース、ショッピングセンター等に啓発資材を設置（ポスター掲載、リーフレット・パネル設置等）した。

・6月28日（火）広島東洋カープ県市合同応援デーにおいて、来場者に対し啓発資材（リーフレット・ポケットティッシュ）を配布した（写真参照）。

・ラジオに出演して薬物乱用防止について県民に広報した。

7月4日～7月8日　18：30～　FMみはら

イブニングスペシャル「安全安心一口メモ」

薬物乱用防止の啓発活動について、パーソナリティと対話形式で放送（録音）

7月4日（月）：広島県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動について

7月5日（火）：薬物の種類（覚醒剤と大麻を中心に）について

7月6日（水）：医薬品乱用について

7月7日（木）：危険性＆実際身近にあるものなのか？

7月8日（金）：薬物を断ち切るためにどのような事ができるか？

広島県

山口県

月　日	6月20日～7月1日、7月17日
開催場所	山口県庁
活動主体	山口県健康福祉部薬務課
参加人員	38人

活動状況

①6・26ヤング街頭キャンペーン

新型コロナウイルス感染症の流行状況に鑑み、幅広な期間内の実施や規模の縮小等を含め、地域の実情に応じた実施とした。

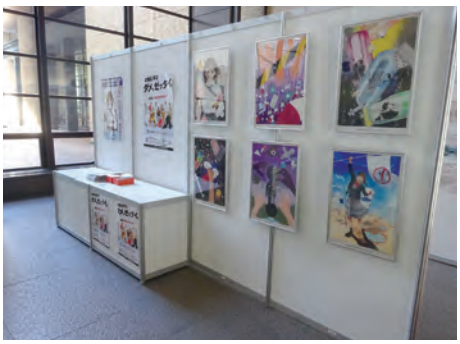
②地域団体キャンペーン

山口県庁において、薬物乱用防止普及啓発に係るポスターや令和3年度薬物乱用防止ポスターの入賞作品の展示を行った。また、啓発物（リーフレット、クリアファイル等）も配置し、薬物乱用の恐ろしさを来庁者に訴えた。（6月20日～7月1日）

また、各種関係機関・団体等の協力を得て、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動のポスターの掲示や、リーフレットの配布を行った。

③その他

薬物乱用防止啓発のデジタルチラシ（タブレットや電子掲示版用）を作成し、山口県内の高等学校等へ配布した。



山口県

徳島県

月　日	6月20日から7月19日まで（地域団体キャンペーン）
開催場所	県下一円（地域団体キャンペーン）
活動主体	県、県薬物乱用防止協議会（県下6地区協議会）、三好警察署生活安全課、阿波池田ライオンズクラブ、池田高校ＪＲＣ部等
参加人員	三好警察署生活安全課2名、阿波池田ライオンズクラブ7名、池田高校のＪＲＣ部15名

活動状況

①6・26ヤング街頭キャンペーン

薬物乱用防止地区協議会を活動主体として、例年実施をしてきた6・26ヤング街頭キャンペーンは、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響のため、中止となった。

三好地区においては、三好地区協議会薬物乱用防止指導員と三好警察署職員が6月24日にスーパーマーケットで薬物乱用防止の呼び掛けや啓発資材の配布を行った。

また、阿波池田ライオンズクラブ会員と池田高校のＪＲＣ部員が6月27日に同校前で薬物乱用防止の呼び掛けや啓発資材の配布を行った。

②地域団体キャンペーン
　薬物乱用防止地区協議会及び薬物乱用防止指導員を活動主体として、県内市町村役場、各事業所、店舗等の協力を得て、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動のポスターの掲示や募金箱の設置行い、国連支援募金活動を実施した。

徳島県

香川県

月　日	6月20日～7月19日
開催場所	瓦町フラッグ8階市民交流プラザＩＫＯＤＥ瓦町、こどもさくら公園、JR高瀬駅、観音寺市一円、三豊市一円　計5箇所
活動主体	香川県、各保健所薬物乱用防止対策連絡協議会、香川県麻薬・覚醒剤・シンナー禍対策推進員、市町、警察署、保護観察所、税関支署、海上保安署、ライオンズクラブ、国際ソロプチミスト、少年育成センター、更生保護女性会、保護司会、薬剤師会、小学生、中学生、高校生、教員　等
参加人員	約1、３００人（見学人含む）

活動状況
　県下4カ所の薬物乱用防止対策連絡協議会が中心となって、市町、警察署、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、その他医療・衛生関係機関等の協力を得て、県内の各施設において募金箱の設置やポスターの掲示を行った。
　街頭での啓発活動としては、駅前や公園等で、チラシやポケットティッシュ、リーフレット等の啓発資材を配布しながら、薬物乱用の恐ろしさを訴えた。また、地元の高校生が樽太鼓を演奏し、薬物乱用の防止を啓発した。
　西讃地区においては、公用車に薬物乱用防止のステッカーを貼り、街中を移動しながらの啓発活動も行った。

香川県

愛媛県

月　日	6月15日～7月16日（地域によっては7月末まで）
開催場所	四国中央市、今治市、松山市、八幡浜市、大洲市、西予市、宇和島市の計7ヶ所
活動主体	愛媛県、愛媛県薬物乱用防止指導員協議会（愛媛県保護司会連合会、ライオンズクラブ、愛媛県薬剤師会、愛媛県薬業協会、愛媛県少年警察ボランティア協会、愛媛県配置薬協会、愛媛県ジェネリック販社協会、愛媛県登録販売者協会）
参加人員	58名（主催者側）

活動状況
　今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、大人数が参加する街頭パレードは開催を見送り、商業施設で小規模な街頭キャンペーンや、関係施設において県薬物乱用防止啓発用ポスターコンクール受賞作品や啓発用パネルの展示会を実施した。街頭キャンペーンや、ポスター等の展示では、リーフレットやポケットティッシュ等の啓発資材を配布して、薬物乱用防止を広く県民に呼びかけた。

愛媛県

高知県

活動主体

高知県、高知県薬物乱用防止推進連合協議会、東部・中央東・高知市・中央西・高陵・幡多の各地区薬物乱用防止推進協議会、ヤングボランティア（ボーイスカウト、小学生、中学生、高校生、大学生等）、民生委員、保護司、ライオンズクラブ国際協会３３６―Ａ地区、関係行政機関職員

活動状況

①６・26ヤング街頭キャンペーン

例年、県下６地区の薬物乱用防止推進協議会が中心となり、ヤングボランティア等の協力を得て、パレード等の街頭キャンペーンを実施し、薬物乱用防止の啓発資材の配布や募金活動等を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントを中止した。

②地域団体キャンペーン

・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動協賛・後援団体に対しリーフレットの配布、ポスター掲示及び募金箱設置の依頼を行うなど啓発活動に努めた。

・オーテピア高知図書館において高知県薬物乱用防止ポスター・標語コンテストの受賞作品及び、薬物乱用防止啓発パネルを展示した。また、展示と合わせて啓発資材（リーフレットやウェットティッシュ等）を設置し、配布することにより薬物乱用防止を啓発した。

展示期間：令和４年６月１日～６月30日

高知県

福岡県

月　日　６月20日～７月19日

開催場所　福岡県内一円

活動主体

県、県薬物乱用対策推進本部、ライオンズクラブ国際協会３３７－Ａ地区、福岡県麻薬協会、（公社）福岡県医師会、（一社）福岡県歯科医師会、（公社）福岡県薬剤師会、（一社）福岡県医薬品登録販売者協会、福岡県医薬品卸業協会、（公社）福岡県医薬品配置協会、（公社）福岡県製薬工業協会、福岡県医療機器協会、福岡県保護司会連合会、福岡県更生保護女性連盟、福岡県ＢＢＳ連盟、日本ボーイスカウト福岡県連盟、（一社）ガールスカウト福岡県連盟

参加人員　約１００名

活動状況

①６・26ヤング街頭キャンペーン

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が必要な状況が続いていることから、街頭キャンペーンは県下１カ所のみで実施した。

実施した街頭キャンペーンでは、高校生を中心としたボランティアによる参加を得て、のぼり・横断幕を掲げ、啓発資材の配布、マルチビジョンによる薬物乱用防止啓発動画の放映、麻薬探知犬デモンストレーションを実施した。

また、薬物乱用防止県庁ロビー展示（パネル・ポスターの掲示、大麻乱用防止啓発動画の放映）の開催及びラジオ番組による「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の告知を行い、県民に広く周知した。

②地域団体キャンペーン

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動期間中、各市町村、関係団体等に対しては、啓発用ポスターの掲示や国連支援募金箱の設置等の協力を依頼した。

佐賀県

月　日　７月２日

開催場所　鳥栖市

活動主体

佐賀県、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会、薬剤師会、保護司会連合会、少年補導員連絡協議会、地域婦人連絡協議会、高等学校、ライオンズクラブ、ＢＢＳ連盟、ボーイスカウト、ガールスカウト、警察署等

参加人員　４人

活動状況

①６・26ヤング街頭キャンペーン

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保健福祉事務所単位で行う街頭キャンペーンは中止した。

薬務課主催で、サッカースタジアムにおいて、リーフレット、絆創膏、標語入ポケットティッシュ一式の啓発資材、薬物乱用防止の標語を入れたトートバッグなどを配布しながら、街頭キャンペーンを実施した。

②地域団体キャンペーン

各協力団体、市町、県警本部、県庁各機関等において、ポスターの掲示による啓発や募金箱の設置により国連支援募金活動を実施した。

福岡県

長崎県

月　日	6月25日、26日、7月1日、3日、12日、16日、17日、20日
開催場所	長崎市、佐世保市、壱岐市、新上五島町、島原市、平戸市、時津町、五島市　合計6市2町13か所
活動主体	長崎県、長崎県薬物乱用防止指導員協議会、長崎県警察本部、長崎県薬剤師会、長崎県保護司会連合会、長崎県防犯協会連合会、ライオンズクラブ国際協会337－C地区、長崎県医薬品配置協会、長崎県PTA連合会、長崎BBS連盟、長崎税関、各市町　等
参加人員	8、164名

活動状況

①6・26「ダメ。ゼッタイ。」ヤング街頭キャンペーン

県、薬物乱用防止指導員協議会が中心となり、関係機関・民間団体等の協力を得て、県下12か所において実施した。

人が多く集まるアーケード・大型店舗等を会場として、薬物乱用はダメ。ゼッタイ。」を合言葉に、通行人、買物客等に対し、啓発資材(リーフレット・ポケットティッシュ・カットバン等)を配布するとともに国連支援募金への協力を行い、薬物乱用防止への理解と協力を呼びかけた。

②地域団体キャンペーン

各団体の協力を得て関係施設に啓発用ポスターの掲示及び国連支援募金箱を設置し募金活動に協力した。また、県庁舎に「ダメ。ゼッタイ。」普及運動横断幕を掲示し、啓発活動を行った。

その他の団体等のイベント開催に併せ、啓発資材の配布などを行った。

●青少年への啓発活動

6月3日に開催された県高校総体開会式会場において、「ダメ。ゼッタイ。」の横断幕の掲示を行い来場者に対する啓発を行った。

全国高校野球選手権長崎大会(甲子園予選)において、長崎市の県営ビッグNスタジアム及び佐世保市総合グラウンド野球場にて「ダメ。ゼッタイ。」普及横断幕を設置し、来場者に対し啓発を行った。

また、レンタルショップ、JR駅、県内自動車学校等若者が多く集まる場所でポスターを掲示し、チラシ等の配布を行った。

佐賀県

長崎県

熊本県

月　日	6月26日～7月18日
開催場所	県内一円
活動主体	熊本県、熊本県薬物乱用対策推進本部、熊本県薬物乱用防止指導員連合協議会、ライオンズクラブ国際協会337－E地区、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動熊本県実行委員会、各市町村、熊本県教育委員会、(公社)熊本県医師会、(一社)熊本県歯科医師会、(公社)熊本県薬剤師会、(一社)熊本県医薬品登録販売者協会、(一社)熊本県医薬品配置協会、熊本県製薬協会、熊本県医薬品卸業協会、熊本県歯科用品商組合、日本薬局協励会熊本県支部、阿蘇製薬(株)、(株)再春館製薬所、リバテープ製薬(株)、KMバイオロジクス株式会社、(一財)化学及血清療法研究所、熊本県保護司会連合会、熊本県防犯協会連合会、熊本県少年警察ボランティア連絡協議会、熊本県社会教育委員連絡協議会、熊本県地域婦人会連絡協議会、熊本県更生保護女性連盟等
参加人員	9人

活動状況

①6・26ヤング街頭キャンペーン

新型コロナウイルス感染症の感染防止等の観点から、地域の実情に応じて中止や規模縮小を含め対応することとした上で、熊本市及び県下保健所管内で、地区薬物乱用防止指導員協議会が中心となり、商業施設やスポーツイベント等において、啓発パンフレット、啓発資材等を配布し、協力を呼び掛けた。

また、麻薬・覚醒剤乱用防止運動期間中(10月～11月)にあわせ、住民等に対して声掛けや啓発資材の配布等を予定している。

②地域団体等キャンペーン

県内各保健所、薬局・医薬品販売業者、病院、自衛隊駐屯地等の各種団体・機関において、ポスターの掲示による啓発及び国連支援募金への協力依頼を行った。

大分県

月　日	6月20日～7月19日
開催場所	大分県内
活動主体	大分県、大分県警察本部及び大分県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会
参加人員	大分県、大分県警察本部、大分市保健所、大分東明高等学校、日本ボーイスカウト大分県連盟、ガールスカウト大分県連盟、大分保護区保護司会、大分県薬剤師会、大分県医薬品登録販売者協会、大分県少年警察ボランティア協会、大分県防犯協会、大分県暴力追放運動推進センター、大分市青少年補導員連絡協議会、大分市青少年健全育成連絡協議会、大分・由布地区公民館連合会、門司税関大分税関支署、竹田ライオンズクラブ、竹田警察署、薬物乱用防止指導員 計４２０人

活動状況

①６・26ヤング街頭キャンペーン

本キャンペーンは大分県が大分市内で、日本ボーイスカウト大分県連盟、ガールスカウト大分県連盟、門司税関大分税関支署等の団体の協力を得て大分県警察本部との共催で実施した。開会セレモニーでは、大分東明高等学校の生徒会長が決意表明を行い「薬物乱用はダメ。ゼッタイ。」のメッセージを発信した。参加者は、「ダメ。ゼッタイ。」たすきを着用し、ボールペン、絆創膏、パンフレット等啓発資材を通行人に配布し、街頭啓発を行うことで、薬物乱用防止を呼びかけた。

また豊肥地区では、豊肥保健所職員が竹田ライオンズクラブ、竹田警察署と共同で竹田総合庁舎前交差点にてドライバーに啓発資材を配布し、薬物乱用防止を啓発した。

②地域団体キャンペーン

大分県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員や地域の団体、企業、店舗等の協力を得て、「ダメ。ゼッタイ。」ポスターの掲示と同募金箱を設置した。また、交通量の多い大分市内２箇所、別府市内１箇所、佐伯市内１箇所の歩道橋に「ダメ。ゼッタイ。」普及運動横断幕を掲示し、啓発活動を行った。

③啓発メッセージ動画の放映等について

麻薬覚せい剤乱用防止センター作成メッセージ動画を普及運動実施期間中に県庁、大分県信用組合各支店、県営ワクチンセンター内のデジタルサイネージ、大分県薬務室ＨＰにて放映した。

熊本県

大分県

大分県

宮崎県

月　日	6月20日～7月19日
開催場所	県内一円
活動主体	宮崎県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会宮崎県薬物乱用防止指導員協議会 宮崎市、宮崎県

活動状況

①6・26ヤング街頭キャンペーン
　開催中止
②地域団体キャンペーン
　宮崎県防災庁舎にて、薬物乱用防止パネル等の掲示、啓発資材の配布を行った。
　各関係機関、関係団体、市町村、大学等に対して、ポスターの掲示や国連支援募金への協力依頼を行った。

宮崎県

鹿児島県

月　日	6月26日
開催場所	鹿児島市
活動主体	県、薬物乱用防止指導員鹿児島地区協議会
参加人員	15人

活動状況

①街頭キャンペーン
　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年実施しているヤング街頭キャンペーンのイベント活動は中止したが、のぼり旗や啓発用パネルを設置し、「6・26国際麻薬乱用撲滅デー」の周知を図ることにより、薬物乱用防止の普及啓発を実施した。
②地域団体キャンペーン
　後援団体等の協力を得て、募金箱の設置やポスターの掲示を行うとともに、地域で開催される各種集会・研修会等において啓発活動を展開した。

鹿児島県

沖縄県

月　日	6月25日
開催場所	那覇市
活動主体	県、県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会、県薬物乱用防止協会
参加人員	34人

活動状況

　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県内1ヶ所に規模を縮小し、薬物乱用防止指導員等を中心にパンフレット等啓発資材を通行人に配布する街頭キャンペーンを実施した。
　また、期間中、街頭キャンペーン以外に次のことを実施した。
①国連支援募金
②県の広報機関を利用した普及啓発（県広報誌への掲載）
③市町村への協力呼びかけ（国連支援募金及びポスター等の掲示）
④県内各関係機関への普及啓発依頼
⑤県庁ロビーにおいて、パネル展示及び普及啓発資材の配布（7月11日（月）～15日（金））

沖縄県